

令和 2 年 4 月 吉日

保護者の皆様

京都市立岩倉南小学校
校長 石田 和三

「岩倉南小学校 学校経営方針」について

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととおよろこび申し上げます。平素は、本校教育の進展のためにご理解ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

新年度が、始まるや否や臨時休業となり、子どもたち、保護者の皆様には、ご負担をおかけしております。くれぐれも体調管理にご留意ください。

さて、新型コロナウイルス感染症対策により、教育課程を見直していかなければならない状況ではございますが、取り急ぎ、今年度の学校経営方針をお知らせいたします。

4 月当初に予定しておりました学校運営協議会理事会も中止となり、書面での報告・承認となりました。

学校便り 4 月号でもお知らせいたしましたが、今年度の学校教育目標を『自ら学び心豊かにたくましく生きる子の育成～笑顔 かがやく 岩倉南の子～』とし、学校教育活動を進めてまいります。裏面に、学校経営方針をまとめた構想図を、学校ホームページでは、詳細版を掲載しておりますのでご覧ください。

ここでは、新しく設定した『みなみっ子の合言葉』について説明いたします。昨年度までは、「やさしさと思いやり」「一生懸命はかっこいい」を掲げ、子どもたちも、そのような姿をたくさん見せてくれていました。今年度は、それを土台にして、「**United by Emotion**」（感動で一つに）「**Let's try it!**」（やってみよう!）に変更しました。この「United by Emotion」は、この夏に開催予定であった、東京五輪・パラリンピックのモットーです。学校教育は、「感動」を味わう場であると考えます。何かができるようになること、みんなで創り上げること、日々の授業での「わかった!」「できた!」、学校行事での「達成感」「成就感」など、みんなで感動を共有することが、子どもたちの心身の成長の糧となるでしょう。そして、その過程では失敗もあるでしょう。しかし、何事も挑戦することが大切です。その思いをこめて、「やってみよう!」としました。外国語科も教科として入ってきましたので、英語に触れるという意味もあり、この 2 つを合言葉にしました。子どもたちに投げかけていきたいと思えます。

また、「感動を一つに」することと関連して、子どもたちが毎年すばらしい劇や音楽などを表現していた「学芸会」を音楽発表会「ミュージックフェスタ（仮称）」とすることにいたしました。新学習指導要領に対応した教育課程の編成、そして新しい 3 学期制の実施に伴い、学校行事の精選、工夫が必要になってきます。「学芸会」は、学習発表会としての位置づけでありましたが、児童数増加に伴い、2 日間に分けての開催、舞台練習など割当時間・場所の確保などの課題から、音楽（合唱）に限定することで、半日開催で全校児童が感動を共有できると考えました。当然、保護者参観についても工夫が必要です。詳しくは、後日お伝えいたします。とは申しましたが、今年度におきましては、運動会、音楽発表会ともに、開催方法の変更が必要になりそうです。今後の情勢をみながら、できるだけ、子どもたちの成長につながるように取り組んでまいりたいと思えます。

以上、これらの方針を基にして、学年、学級目標を設定し、学校教育活動を行ってまいりますので、今後とも、本校教育にご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

京都市学校教育の重点～目指す子ども像～

『伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども』

子どもの主体性と社会性の育成をめざし、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を高める

岩倉南小学校学校教育目標

自ら学び 心豊かに たくましく生きる子の育成
～笑顔 かがやく 岩倉南の子～

めざす子ども像

○思いやりのある子（徳） ○自ら進んで学ぶ子（知） ○体を大切にする子（体）

＜育成をめざす資質・能力＞

「自ら学ぶ力」「自ら律する力」⇒思考力・判断力・表現力

家庭・地域との連携

みなみっ子のめあて

- ① 人の話をしっかり聞き、よく考えよう（思考力）
- ② 自分の考えや思いを、分かりやすく伝えよう（表現力）
- ③ あたり前のことを あたり前にしよう（判断力）

めざす学校像

○子どもが毎日楽しく通える学校
～「期待の登校」「満足の下校」～

子どもを真ん中
において考える

めざす教職員像

○子ども一人一人を大切にする教職員
○子どもの手本となる教職員

教職員の責任と自覚

合言葉は、

「United by Emotion」
（感動で一つに）

「Let's try it !」
（やってみよう!）

社会性の育成

主体性の育成

教育目標実現に向けた取組の重点 ～「徳」「知」「体」の調和のとれた育成～

「思いやりのある子」（徳）

- ◎規範意識の向上
 - *あいさつの徹底
 - *児童会活動の充実
- ◎人権教育・道徳教育の充実
 - *一人一人の良さを的確に「見抜き」「認め」「ほめ」「伸ばす」
- ◎環境を整える
 - *清掃活動⇒責任と分担

「自ら進んで学ぶ子」（知）

- ◎授業力向上をめざす
 - *主体的・対話的で深い学び
 - *子ども主体の授業へ
 - *生活科・社会科を核として
- ◎読書活動の充実
 - *図書館活用教育の推進
- ◎自学自習の習慣
 - *家庭との連携⇒自学自習のすすめ

「体を大切にする子」（体）

- ◎安心安全の学校づくり
 - *安全教育、防災教育の推進⇒安全点検・避難訓練
- ◎体力の向上
 - *体育科学習の充実
 - *外遊びの工夫
- ◎望ましい生活習慣や食習慣
 - *早寝・早起き・朝ごはん

学校運営協議会 各種企画推進委員会の充実 ～ゲストティーチャーによる総合学習～

- ★世代を越えたふれあい委員会（1・2年生・6組）
- ★自然環境を守る委員会（3年生）
- ★伝統文化を大切にする委員会（4年生）
- ★地域の絆を結ぶ防災委員会（5年生）
- ★思いやりの心を育む福祉委員会（6年生）

★学校環境の整備

★校種間連携・接続の推進